



あさのちゃんねる

vol.35

2020年 秋号
(年4回発行)



特集

救える難聴もある！ 難聴を引き起こす「外リンパ瘻」

耳鼻咽喉科医長
宮澤 医師 インタビュー

連携登録医のご紹介

耳鼻咽喉科はまなすクリニック

院長 寺口 奏子 先生



寒暖差で体調を
崩さないよう
気をつけてくださいね。

病院の理念

救急から在宅まで、地域の医療を守り支える病院を目指します。

病院の方針

【地域連携】医療・介護・福祉が一体となった切れ目のない医療サービスを提供し、地域医療の充実に努めます。

【救急医療】断らない救急医療を目指します。

【予防医学】健康診断を推進し、病気の予防・早期発見に努めます。

【チーム医療】患者さん中心のチーム医療を実践し、安全で質の高い医療の提供に努めます。

【人材育成】次代の医療を担う信頼される人材の育成に努めます。

特集

耳鼻咽喉科医長インタビュー

救える難聴もある！ 難聴を引き起こす 「外リンパ瘻」

外リンパ瘻は難聴を起こす内耳疾患です。聞きなれない病名ですが、手術により劇的に回復する可能性があり、当院では数日のあいだ安静にしても改善しない場合は積極的に外科的治療を行っています。その症状や治療法について耳鼻咽喉科医の宮澤医師が解説します。

あまり知られていない 難聴の一種「外リンパ瘻」

耳は外耳、中耳、内耳という3つの部分から構成されています。外リンパ瘻は内耳の一部に穴が開き、内耳リンパ液が漏れる病気です(参考図:本誌P4 外来紹介)。内耳には膜状構造になった前庭窓と蝸牛窓があり、主にこの2か所からリンパ液が漏れていることが多いです。症状は難聴、めまい、耳鳴りなどで、原因は、頭を強く打つ、鼻を強くかむ、重いものを持つ、飛行機やトンネルで気圧の急激な変化にさらされる、水に潜る、くしゃみをするといったことが挙げられ、いずれも中耳圧もしくは脳脊髄圧に急激な変化を起こす行為です。また、このような誘因がない特発性の場合もあります。近年、原因不明の難聴である突発性難聴と診断されていた難聴の中に外リンパ瘻が一定数含まれていることが報告されています。外リンパ瘻に罹患しやすい年齢や性別は

耳鼻咽喉科医長

みやざわ とおる
宮澤 徹

日本耳鼻咽喉科学会専門医
日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医
日本耳鼻咽喉科学会専門研修指導医

趣味

バイオリン(メディカルオーケストラ金沢等のオーケストラ活動)

猫に癒される

健康法

片道10kmの自転車通勤

座右の銘

慈愛の心を持つ事

診察日

月～金曜の午前、月・水・金曜の午後(予約制)



なく、若い方でも発症することがあり、早期に適切な治療を行わなければ難聴や耳鳴り、身体のバランス障害が残ってしまうことがあります。上記に挙げた原因となる行為の後、急激に難聴になった場合は外リンパ瘻の可能性もあるので、早めに耳鼻咽喉科を受診してください。

手術により高度難聴が回復した症例も

外リンパ瘻の診断方法として、まず原因となる行動がなかったかをヒアリングします。水が流れるような耳鳴り、難聴が始まった時にポンという音がしたかも診断の手掛かりになります。難聴側を下にした時に特徴的な目の揺れ(眼振)が出現する場合や、聴力検査によって聴力が変動しながら悪化する場合も重要な特徴です。側頭骨CT検査は病変が小さいため確定診断はできませんが、内耳に空気が入っているといった原因が発見されることもあり、有用です。また、現在臨床研究段階ですが、中耳の洗浄液からCTPという外リンパ特有のタンパク質を検出する検査が開発されつつあります。

診察の結果、外リンパ瘻を疑う場合は入院していただき、数日間、安静な状態で投薬治療を行い、聴力の改善が見られない場合は確定診断と治療を兼ねて耳内手術をします。手術により内耳を観察し、リンパ液が漏れていることが確認できれば、その部分を筋肉の膜で覆う内耳窓閉鎖術・瘻孔閉鎖術を行います。手術は局所麻酔もしくは全身麻酔で行い、2時間程度で終了します。手術の傷自体は2日程度で治りますが、脳圧を下げる必要があるため、術後は頭部を少し高くして安静に過ごしていただきます。術前の検査を含め、入院は1週間程度です。

高度な耳鼻手術に積極的に取り組む

当科は全般的な耳鼻咽喉科治療を行っていますが、私のライフワークは難聴治療であり、得意分野として治療に当たっています。急性難聴には、鼓膜の振動を内耳に伝える機能に障害が生じる「伝音難聴」と内耳・蝸牛神経・脳の問題で生じる「感音難聴」があります(参考図:本誌P4 外来紹介)。伝音難聴には急性中耳炎や滲出性中耳炎、外傷による耳小骨離断、耳硬化症の増悪などがあり、

当院では積極的に手術に取り組んでいます。感音難聴の主な原因は急性低音障害型感音難聴(ストレス難聴)、メニエール病、突発性難聴、先に解説した外リンパ瘻が挙げられ、安静や薬物による保存的治療に加え、ステロイド鼓室内注入療法も行っています。外リンパ瘻は一般的には保存的治療を行う急性感音難聴の一種でありながら、手術で根治や改善が望める稀有な疾患です。しかし、国内では対応できる医療機関が少なく手術件数が少ないのが現状です。当院では外リンパ瘻が疑われる場合、積極的に瘻孔閉鎖術による外科的治療を行っています。

医師として患者さんに育ててもらおう

私は長野県安曇野市で代々医師をしている家庭に生まれました。幼い頃から音楽が好きで、聴力や音に関係する耳鼻科医になりました。これまで金沢医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部甲状腺外科、米国ミシガン大学クレスゲ聴覚研究所、細田耳鼻科EAR Clinic(大阪府)で診療・研究・手術・教育に携わった後、昨年当院へ赴任しました。これまで多くの経験を積みましたが、駆け出しの頃に出会ったある患者さんが忘れられません。その方は当時の自分と同年代で、がん治療を受けていました。最初は衝突もしましたが、患者さんを思いやる気持ちを忘れずに接したところ、次第に信頼していただき、友人のような関係になりました。残念ながらその患者さんは亡くなられてしまいましたが、治療の効果が出た時は患者さんと共に喜び、再発した時は悲しみや焦燥感、無力感を味わいました。その時の経験が今も役立っていると思います。私のモットーは患者さんの気持ちに寄り添う診療です。難聴の改善には適切な治療が大事で、慢性的な難聴でも手術で治る場合もありますので、気軽に受診してください。



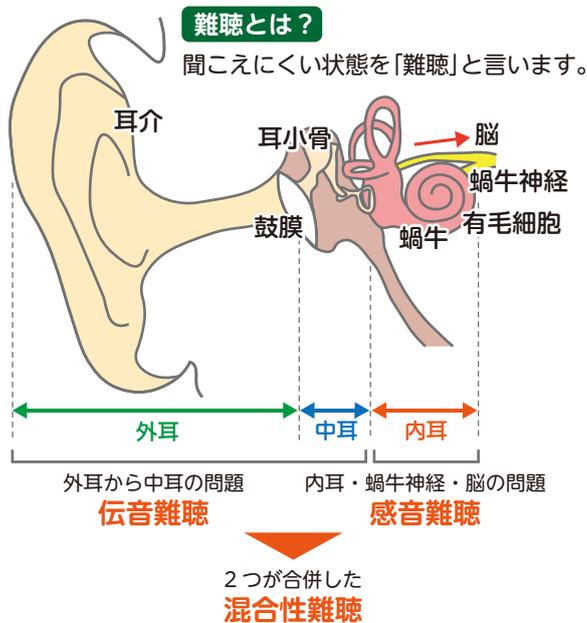
当科は耳鼻咽喉科医2名の常勤体制で診療しています。耳鼻咽喉科全般診療の他に、頭頸部外科診察(火木・予約制：金沢医科大学頭頸部外科教授 辻 裕之先生)、鼻アレルギーレーザー外来(水・予約制)、甲状腺外科外来(第4土曜日：金沢医科大学頭頸部外科 下出 祐造先生)といった特殊外来も設けています。専門医による診察により、一般的には難渋するような疾患であっても投薬・処置などの保存的加療だけでなく、比較的高度な手術加療も駆使し治療にあたっています。また、手術を行う場合は少しでも患者さんの負担が軽減されるよう、日帰り局所麻酔手術から数日間の入院で済む短期滞在手術を行うように心がけています。

難聴について

難聴には音の振動を伝える外耳から中耳にかけて異常を生じる「伝音難聴」と内耳の興奮を認識する内耳・蝸牛神経・脳の異常で生じる感音難聴に分けられます。伝音難聴は投薬・処置・手術等が治療の主体となり、感音難聴は投薬による保存的治療が主体となります。

伝音難聴の治療

外耳道炎、急性中耳炎などは一時的な症状である場合も多く、薬物投与で治療します。滲出性中耳炎は鼓膜切開や鼓膜チューブ挿入(局所麻酔)などの処置を行い、単純性鼓膜穿孔には日帰り局所麻酔手術での鼓膜形成術、慢性中耳炎・真珠腫性中耳炎・癒着性中耳炎には鼓室形成術(局所麻酔または全身麻酔)、耳硬化症にはアブミ骨手術(全身麻酔)を行っております。これらの疾患で病変の除去がされても聴力改善が難しい場合は、補聴器装用等により日常生活で問題なく聞こえるようになります。



感音難聴の治療

感音難聴の主な原因は急性低音障害型感音難聴(ストレス難聴)、メニエール病、突発性難聴、加齢性難聴、騒音性難聴、外リンパ瘻等が挙げられます。

急性期の感音難聴については内耳循環改善薬・ステロイド全身投与が一般的ですが、当科ではステロイド鼓室内注入による治療も行っております。急激に高度難聴を生じやすい外リンパ瘻(特集参照)に対しても当科では瘻孔閉鎖術による手術に対応しております。

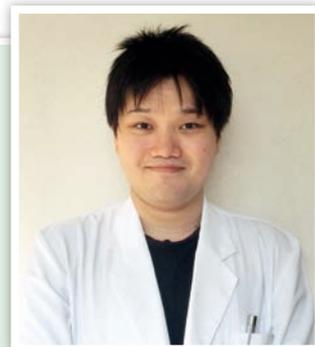
難聴全般にも言えることですが、ある日突然片耳が聞こえなくなったなど、急激に難聴を認めた場合はできるだけ早く(発症後、数日以内に)耳鼻咽喉科を受診してください。早期治療ほど改善する可能性が高くなります。

今年9月に耳鼻咽喉科に赴任しました!

名前：岡野 恵一郎

専門分野：頭頸部悪性腫瘍、甲状腺腫瘍

出生から高校卒業まで山口県下関で過ごし、金沢医科大学医学部へ入学、卒業後すぐに同大学病院 頭頸部・甲状腺外科に勤め、専門分野の頭頸部腫瘍の外科手術・化学放射線療法の治療に加え、嚥下障害にも携わっておりました。当院でもその経験を活かして、地域に貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。



受付時間

〈月～土〉8:30～11:00

※土は交代制

連携登録医のご紹介

今回は、河北郡内灘町の『耳鼻咽喉科
はまなすクリニック』をご紹介します。

2017年に宮崎耳鼻咽喉科医院を承継し「耳鼻咽喉科
はまなすクリニック」を開業いたしました。

開業前は、金沢医科大学病院で鼻副鼻腔炎の手術治療、小児難聴やアレルギーの専門外来を主に担当し、一般外来から頭頸部腫瘍に至るまで幅広く経験いたしました。

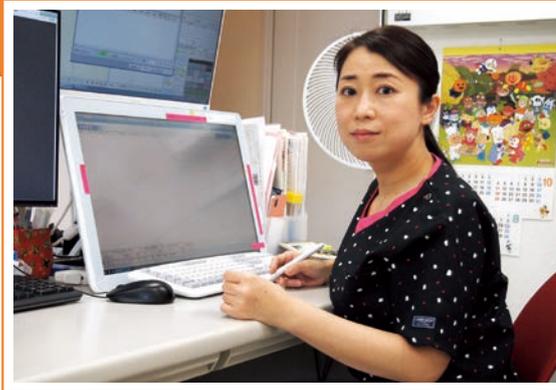
現在は一般耳鼻咽喉科診察に加え、舌下免疫療法やBスポット療法、補聴器相談も行っております。また来院困難で耳鼻科診察を諦めておられた方に対して、細々ですが往診も行っております。耳垢除去から嚥下機能検査、頭頸部癌の処置など、お困りの際は是非ご相談下さい。

浅ノ川総合病院へは、入院を要する急性疾患や手術適応のある患者さん等をご相談しており、いつも快く迅速に対応頂き、心より感謝いたしております。

今後も連携を深め、地域医療に貢献したいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



クリニック外観



院長 寺口 奏子 先生

耳鼻咽喉科 はまなすクリニック

診療科：耳鼻咽喉科

専門領域：耳鼻咽喉科一般、鼻副鼻腔炎、小児難聴

専門医資格：日本耳鼻咽喉科学会専門医

日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医

略歴：大阪府出身

金沢医科大学卒業

能登総合病院

加賀市民病院(現 加賀市医療センター)、羽咋病院、

金沢医科大学耳鼻咽喉科教室を経て、

2017年に耳鼻咽喉科はまなすクリニック開業

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~11:00	/	/	/	○	/	/	/
9:00~12:30	○	○	○	/	○	○	/
15:00~18:00	○	○	○	/	○	/	/

休診日：日曜日、祝日、木曜・土曜午後

住所：〒920-0268
河北郡内灘町ハマナス2丁目7番地
電話：076-286-3387
駐車場：あり
アクセス：北鉄バス「大学前」下車徒歩5分



連携登録医とは

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

がん相談支援室のご紹介

がん相談支援室とは

「がん相談支援室」は、がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関・介護施設などの情報について相談ができる窓口です。患者さんやご家族の他、地域の方々はどなたでも無料でご利用いただけます。

例えば、がんと告げられた方がどれ程の医療費がかかるのか、住み慣れた地域で生活する中でどのような介護サービスが利用できるのかなど、多岐に渡る相談を受け付けています。



相談ができることの例

がんの予防や検診について

- がん検診はいつ、どこで受けられるか
- がん検診で再検査の通知がきて、不安でたまらない

検査・治療・副作用

- 自分のがんや治療について詳しく知りたい
- 担当医から提案された以外の治療法がないか知りたい
- セカンドオピニオンを受けたいが、どこに行けばよいか

緩和ケア

- 地域で緩和ケアを受けられる病院はあるか
- 治療を続けながら緩和ケアを受けるにはどうしたらよいか

療養生活の過ごし方

- 治療の副作用や合併症と上手に付き合いたい
- 自宅で療養したい

医療者とのコミュニケーション

- 担当医の説明が難しい
- 医療者に自分の疑問や希望をうまく伝えられない
- 何を聞けばよいのかわからない

経済的負担や支援について

- 活用できる助成・支援制度、介護・福祉サービスを知りたい
- 介護保険の手続きを知りたい
- 仕事や育児、家事のことで困っている

社会との関わり

- 病気について、職場や学校にどのように伝えればよいか
- 仕事を続けながらの治療はできるか

患者さんやご家族の心のこと

- 気持ちが落ち込んでつらい
- 思いを聞いてもらいたい

家族との関わり

- 家族にどう話していいかわからない
- 家族の悩みも相談したい

がん相談支援室の体制

ソーシャルワーカーと看護師を中心として、医師、薬剤師、リハビリ療法士、栄養士などの多職種で相談にのります。個人的な内容が外に漏れることはありません。個人情報保護を厳守いたします。

ただいま新型コロナウイルス感染症対策で、がん相談支援室のある東館1階の出入りを制限しており、ご迷惑をおかけしております。ご相談の際には、下記までお電話いただくか、来院された際に院内のスタッフまでお声掛けください。

がん相談支援室は

▶誰でも相談でき（匿名可）

当院への通院の有無や、患者・家族を問わず、どなたでも無料で相談できます。

▶信頼できる情報を提供し

がん情報サービス、その他の信頼できる情報を探し、情報提供いたします。

▶中立の立場で橋渡しすることで

病院内や地域のネットワークを構築して、解決の選択肢を広げます。

▶自ら解決できるよう支援する

相談者に寄り添い、お困りごとの解決を目指して支援いたします。

相談窓口です。

がん治療や生活するうえで情報は非常に重要です

課題の解決に利用できる社会制度の多くは自己申告制となっており、適切な制度を自分で見つけないと利用できない場合があります。あとで「もし知っていたら」と後悔しないよう、是非がん相談支援室にお尋ねください。



新型コロナウイルスの制限が落ち着いた際には、“楽しく学べ、患者同士や職員がつながることができる”様々なイベントを企画いたしますので、是非ご参加ください。

構成
スタッフ

〈東館1階 がん相談支援室〉

看護師

医療ソーシャルワーカー

お問い合わせ先

〈月～金〉8:30～17:00 〈土〉8:30～12:30(第2土休み)

TEL:076-252-2101

新型コロナウイルス感染症に関するお願い

！来院時の検温にご協力ください

ご来院される方は正面入口のサーモカメラで検温をお願いします。37.3度以上の発熱や、マスクを着けていなかったりすると、カメラ端末から音声でお知らせします。

車椅子の方やお子様等、サーモカメラでの検温が難しい方は非接触型体温計で検温します。最寄りのスタッフにお声掛けください。

また、発熱が認められた方は、近くに常駐しているスタッフにお声がけください。



非接触型体温計



！面会制限にご協力ください

受付時間

14:00～18:30 ※18:15までにはご来院ください。

面会時間と頻度

1日1回(15分以内)

面会ができる方

1. 入棟許可証をお持ちの方

- ・入院患者さんお1人あたり1名のみ、継続利用できる入棟許可証を発行(郵送)します。
- ・入棟許可証は登録された方のみ利用可能です。

2. その他、入棟が必要な方

- ・病棟からの呼び出し(病状説明等) ・入退院の手続き
- ・医療関係者、業者等

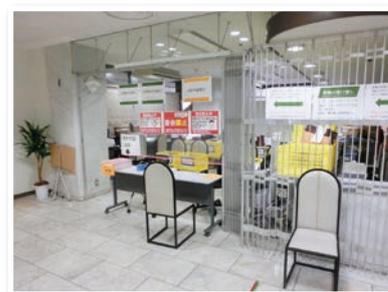
[注1]以下の場所で受付してください。

■平日 14:00～17:00……………「入棟受付所」(本館1階コンビニ前)
17:00～18:30……………「時間外受付」

■土日祝 14:00～18:30……………「時間外受付」

[注2]以下の方は入棟できません。

- ・発熱、鼻水、咳、喉の痛み、下痢、味覚嗅覚障害のある方
- ・2週間以内に感染拡大地域から帰ってきた方、または帰ってきた方が周囲にいる方



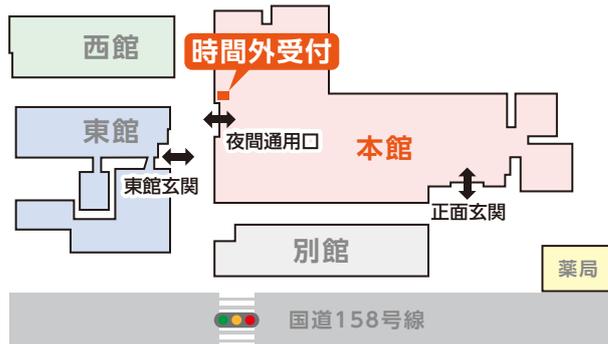
入棟受付所(本館1階コンビニ前)

上記内容は11月1日現在の対応です。随時変更を行う事もありますので
ご了承ください。最新の情報は当院ホームページをご参照ください。



時間外診療(救急外来)のご案内

当院では地域の皆さんを守り支えるため、365日24時間、救急医療体制を整えています。
 診療時間外(平日17時～翌朝8時30分の間)や休日、お体の具合が悪くなった場合は、時間外診療受付までご来院ください。受付の後、救急外来で診察いたします。なお、ご来院前に電話で病状等を教えていただけますと幸いです。



17時以降、正面玄関は施錠されています。屋外案内表示に従い、時間外診療受付までお越しください。受診の際は健康保険証、診察券(お持ちの方)をお持ちください。

なお、時間外診療は一律5,000円(交通事故の場合は10,000円)をお預かりし、翌日以降、正式な清算となります。

病院機能評価の認定を更新しました

公益財団法人 日本医療機能評価機構は、病院に対して、組織的に医療を提供するための活動が適切に実施されているかを中立的、科学的・専門的な見地から評価する活動を行っています。そしてこの度、下記認定内容について、更新認定審査に合格し、更新認定を受けました。

- 一般病院 2
- 機能種別版評価項目3rdG:Ver.2.0
- 2020年9月4日交付(初回2005年3月。認定4回目)
- 認定機関:2020年3月28日～2025年3月27日

今後も、医療の質の向上を図り、安心安全な医療を提供できるよう努めて参ります。



日帰り人間ドック期間限定割引のご案内



日帰り人間ドックを期間限定で割引します。是非この機会にご利用ください。

割引実施期間 令和3年**1月4日～3月31日** **対象** 個人でお申込みの方

料金	日帰りドックAコース	16,150円(通常料金19,000円)※税別
	日帰りドックBコース	25,500円(通常料金30,000円)※税別

割引率
15%

※市町村・企業の補助を受けられる方は割引対象外です。 ※すでに上記期間にご予約された方にも、割引料金を適用させていただきます。

お問い合わせ先 浅ノ川総合病院 健診センター **TEL** 076-252-2101(代)

お知らせ

✿ 年末年始休診のお知らせ

令和2年12月29日(火)午後～令和3年1月3日(日)まで、年末年始のため外来診療を休診いたします。(救急の場合は救急外来で対応します)

✿ インフルエンザ予防接種について

インフルエンザ予防接種をご希望される方は各科外来窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL:076-252-2101(代) URL:<http://www.asanogawa-gh.or.jp/>

メールアドレス:kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp

